

赤十字国際委員会(ICRC)の概要



- スイス人アンリー・デュナンが紛争犠牲者の保護のための組織及び条約の必要性を提唱したことを受け、1863年にジュネーブに設立された世界で最も歴史のある人道支援組織。(スイスの国内法人)
- 中立・公平・独立等を基本原則とする「赤十字運動」の草分けであり、世界各国の赤十字社・赤新月社(合計192社)を認定する。ノーベル平和賞を3回受賞、創設者デュナン自身は、第1回ノーベル平和賞受賞者。
- 世界中の紛争地域において犠牲者(避難民、病人・負傷者、捕虜等)に対する、医療支援、食料・生活物資の供給等の救援活動や、収容所の訪問、国際人道法の普及活動等を実施。
- 紛争地にて、中立の観点から、広範なグループに「アクセス」を有する。
- 世界各国の赤十字社・赤新月社、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC )とともに国際赤十字運動を構成する。(ICRCは、主に紛争地域における人道支援に従事している。)

主な活動

救援: 医療、水、食料等救援活動



スーダンの国内避難民キャンプにおける子供の検診

保護: 収容所の訪問等



コロンビアにおける刑務所訪問

予防: 国際人道法の普及活動等



中央アフリカ共和国で兵士に国際人道法を紹介

組織

- 本部: ジュネーブ。紛争地を中心に100カ国以上で活動
- 総裁: ミリアナ・スポリアリッチ・エッゲー (スイス人、2022年10月就任、)
- 職員数: 20,867人
うち国際職員数2,959人
邦人国際職員数: 30人
※2021年末現在

日本との関係

- 我が国は、年間1,000万スイスフラン以上の拠出国で構成されるドナー・サポート・グループ(DSG)の創設時からのメンバー。
- 我が国は、2022年6月にDSGの議長国に就任(任期1年)。
- 2009年に駐日事務所開設。
- 日本赤十字社と積極的に連携
- 近年は日本の大学、企業との連携にも注力。

各国の拠出状況

(単位: 千スイスフラン)

	2019年			2020年			2021年		
	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率
1	米国	478,417	26.28%	米国	491,187	26.30%	米国	543,636	27.72%
2	英国	211,803	11.64%	ドイツ	256,190	13.72%	ドイツ	247,496	12.62%
3	ドイツ	180,741	9.93%	英国	208,673	11.18%	スイス	156,467	7.98%
4	スイス	155,293	8.53%	スイス	156,031	8.36%	英国	153,105	7.81%
5	EC	147,270	8.09%	EC	122,719	6.57%	EC	128,930	6.57%
6	ノルウェー	73,541	4.04%	スウェーデン	87,604	4.69%	スウェーデン	93,233	4.75%
7	スウェーデン	71,348	3.92%	ノルウェー	63,141	3.38%	ノルウェー	86,850	4.43%
8	カナダ	53,028	2.91%	オランダ	58,663	3.14%	カナダ	66,040	3.37%
9	オランダ	51,714	2.84%	カナダ	55,014	2.95%	日本	51,020	2.60%
10	豪州	40,682	2.23%	フランス	34,485	1.85%	オランダ	46,239	2.36%
予算総額		1,820,319	100.00%		1,867,307	100.00%		1,960,918	100.00%
上記順位に日本が入っていない場合の順位等	14位 日本	25,978	1.43%	13位 日本	25,953	1.39%			